

## 「生涯青春～太宰府バスハイク編～」



3月18日(水)スーパーウェンズデー  
 「九州国立博物館&太宰府バスハイク」の様子

九州国立博物館・文化交流展示室見学



3月20日(金)は、春分の日。この日は、真東から昇った太陽が真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ等しくなり、この日を境に次第に昼の長さが長くなります。この日ははさんだ前後の7日間が「春の彼岸」です。「暑さ寒さも彼岸まで」との言葉があるように、寒さも峠を越し温和な気候になります。農家の方々は、この「春分」を目安に種を蒔くそうです。そして、4月、たくさんの花が咲き、鳥たちが歌い、清らかで生き生きとした「清明」の時節を迎えます。

中国では春の色を「青」としてます。そして「青春」という言葉はそこから生まれた言葉だ

そうです。「青春」ど真ん中の生徒の皆さんも、新学期に向けて、将来の夢や目標などの「心の種」を蒔く季節です。

本校では、「学校で行われるすべての教育活動が、生徒の皆さんへの種蒔きである」と考えています。本年度行われた様々な行事や活動、そして先生方などにより、生徒の皆さんにたくさんの種が蒔かれました。そして活動終了後、将来の夢、働くことの意味、感謝、人との関わり、進学、受験勉強への決意、そして生徒会の新たな挑戦など、一、二年生皆さんの心の中にも、すてきな種がたくさん発芽したはずですよ。

何事も、種を蒔かなければ芽を出し、花を咲かせることはありません。また人生は「生涯青春」とも考えられます。本校職員もこの春、生徒の皆さんと心の中にたくさんの種を蒔こうと思います。

今回は、3月18日(水)に行ったスーパーウェンズデー「九州国立博物館&太宰府バスハイク」の様子をお届けします。



太宰府天満宮

